

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県 総社市

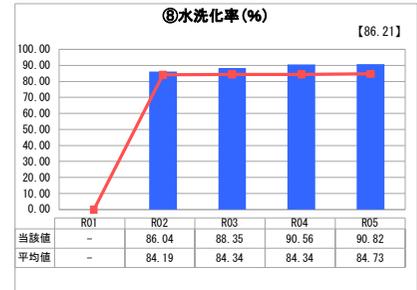
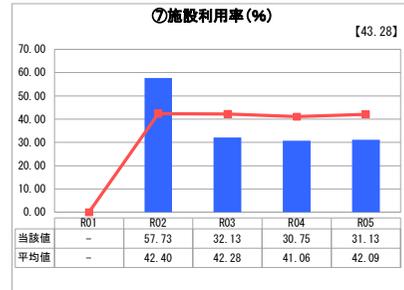
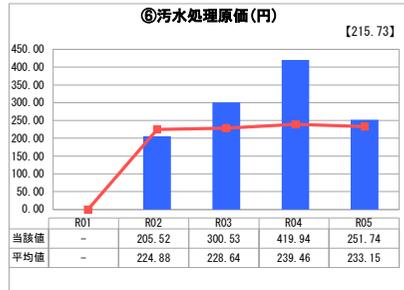
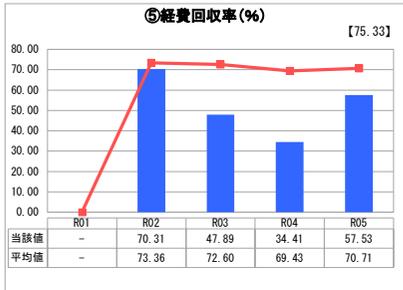
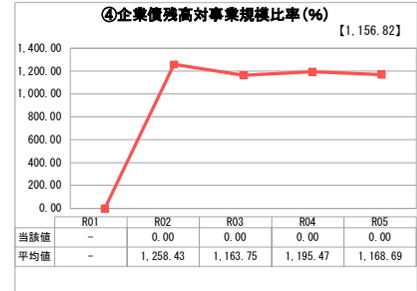
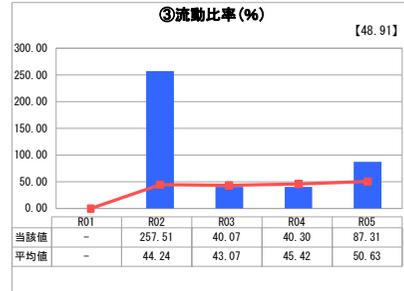
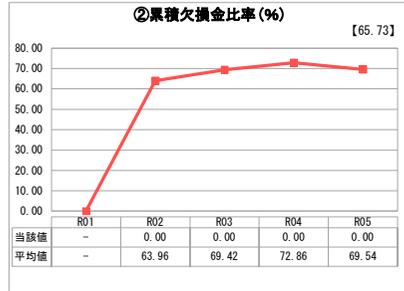
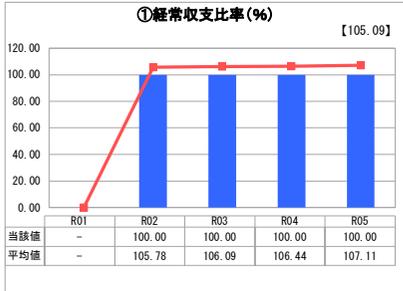
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	48.32	1.32	97.09	2,849

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
69,731	211.90	329.08
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
915	0.44	2,079.55

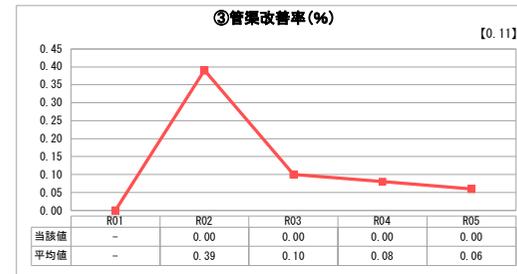
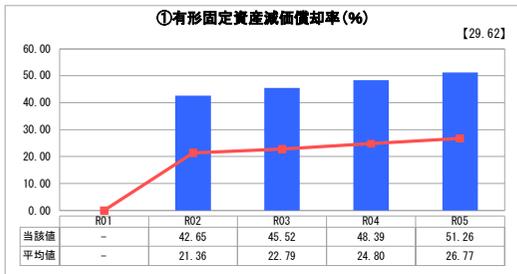
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%となっておりますが、収益の1/2を他会計補助金で賄っています。使用料収入の確保と維持管理費の削減に努めていく必要があります。

② 流動比率
100%を下回りますが、他会計からの繰入れにより支払い能力は保たれています。企業債の発行額を償還額以下となるよう抑制しており、将来的には改善していく見込みです。

③ 経費回収率 ④ 汚水処理原価
使用料で回収すべき経費を他会計補助金に頼っているため、経費回収率は100%を下回っています。経営改善に向け、引き続き経費削減に取り組みます。

⑤ 施設利用率 ⑥ 水洗化率
供用開始から約20年を経過し、高い水洗化率を維持する一方で、人口減少等により施設利用率は類似団体より低い数値のままです。今後はストックマネジメント計画に基づき、適正な施設規模となるよう補修・改築を行います。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
過去の多額な施設整備により、減価償却額が大きく、類似団体と比べ高い値となっています。将来の大規模投資が見込まれることから、ストックマネジメント計画に基づき、最適な施設管理に努めます。

② 管渠老朽化率 ③ 管渠改善率
管渠の耐用年数を経過していないため、0%となっています。当面の間は点検等により機能保全に努めます。

全体総括

経営の健全性・効率性から、使用料収入だけで経費を賄うことができず、他会計補助金に依存していることが示されています。
高い水洗化率に加え、人口減少や節水機器の普及により、使用料収入の大幅な増加は見込めません。引き続き、経費の縮減に努め、経営改善に取り組みます。
老朽化が進む施設については、効率的な施設を目指し、ダウンサイジングを含めた計画的な施設の補修や更新を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。